

11

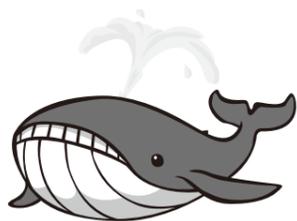
かつて、鶴見区には水路(井路)が多く存在し、水田や〇〇畑等の農業用水として、また舟で人や物を運ぶために活用されていました。また、水路には舟がスムーズに動くために水位を調整する目的で水門がありました。〇〇に入る野菜の名前はなんですか。

- ①レンコン
- ②ニンジン
- ③ゴボウ
- ④ダイコン

12

今から約6000年前、鶴見区は河内湾の海底にありました。そのため、諸口6丁目では、体長約20メートルのナガスクジラの骨が出土しましたが、どの部位の骨でしょうか。

- ①下顎骨
- ②舌骨
- ③胸椎
- ④肋骨



13

平成23年(2011年)から翌年にかけて、鶴見区内の市営住宅の建て替えに伴い発掘調査が行われた「〇〇遺跡」では、特に奈良時代の土器が多く出土しました。〇〇に入る遺跡の名前(地名)はどれでしょうか。

- ①茨田
- ②横堤
- ③諸口
- ④焼野

14

鶴見区には、いくつかの旧街道があります。徳庵から東六郷の吉原、加納方面に出る道で、新開地が干拓された頃にできた井路沿いの新道は、何街道でしょうか。

- ①放出街道
- ②石切街道
- ③茨田街道
- ④守口街道

15

京橋から寝屋川の北側を、今福、鶴見、横堤と寝屋川に沿って東進し、古川を渡って徳庵で枝切街道と交差し、中茶屋を経て北鴻池町(大東市)に入る街道があります。この街道は何街道でしょうか。

- ①熊野街道
- ②浜街道
- ③古堤街道
- ④暗峠街道

16

明治18年(1885年)、集中豪雨から始まった淀川大洪水の被害は、淀川が決壊したことにより被災者27万人を超える事態になり、現在の鶴見区あたりは泥で覆われてしまいました。この危機に立ち上がった放出出身の「治水翁」と言えば誰でしょうか。

- ①大橋房太郎
- ②大橋伝次郎
- ③大橋房二郎
- ④大橋兼太郎

17

かつて、鶴見区にはたくさんの田んぼがあり、家と田んぼの間の用水路では、農具や収穫した作物を舟にのせて人々が行き来していました。その舟の名前はなんですか。

- ①二枚板舟
- ②三枚板舟
- ③四枚板舟
- ④五枚板舟

18

大正3年(1914年)に天満橋と今福を結ぶ、ある交通手段の営業が開始されました。その後、徳庵まで延長された、ある交通手段とは何でしょうか。

- ①馬車
- ②バス
- ③路面電車
- ④巡航船

19

鶴見区にある〇〇神社は、大正4年に赤曾根神社を改称して〇〇神社と称するようになりました。「国際花と緑の博覧会」(以下「花の万博」と記載)の造成工事の際に『国家的事業の成功のために協力しよう』と移転にも協力した神社とはどれでしょうか。

- ①比枝神社
- ②八幡神社
- ③古宮神社
- ④大宮神社

20

明治28年(1895年)に、片町駅~四条畷駅間を結ぶある鉄道(現JR学研都市線)が開業し、村落の在り方を変えていきました。ある鉄道の名称は何でしょうか。

- ①浪速
- ②大阪
- ③京阪
- ④近畿